

川崎区地域自立支援協議会

ともに暮らすまちづくり

～みんなにやさしい川崎区～

川崎区について(平成25年10月1日現在)

人口 217,974人

障害者手帳の取得者数

- ・身体障害者手帳 7,069人(9月末)
- ・療育手帳(判定のみの方含む) 1,408人(9月末)
- ・精神障害者保健福祉手帳 1,359人(6月末)

地域自立支援協議会組織図

川崎市

事務局会議
(行政・相談支援センター)

自立支援協議会の運営について検討

全体会議
(協議会参加機関)

地域生活の課題の検討と共有

専門委員会
(協議会参加機関)

暮らし・こども・災害

川崎市

課題整理ワーキンググループ

広報委員会

参加団体(計34か所)

区役所・支所・相談支援センター・療育センター・特別支援学校(地域担当・PTA)・障害者支援施設・精神保健福祉センター・盲人図書館・当事者・区社会福祉協議会・二次専門機関

～活動内容～

☆毎月1回の事務局会議

☆毎月1回の全体会議を実施

- 意見交換会
- 専門委員会

を行う。

☆意見交換会の目的☆

小グループに分かれ、様々な立場や職種で多角的にテーマについて検討し、共有を図ることを目的としています。

☆意見交換会の内容☆


8月、9月「親子の高齢化」

10月、11月「虐待ケースについて」

☆話し合いの内容を課題整理ワーキングに提案します。

意見交換会の様子





☆ 専門委員会の目的 ☆
「災害対策」「こども」「暮らし」と
3つの委員会に分かれて、地域
性を意識した内容で、地域生活
を営む上での課題を共有し、検
討しています。

☆専門委員会の内容☆

「災害対策委員会」

東日本大震災で被災された障害者の方の実情を協議会の構成員で共有し、区として取り組むべき課題を整理し、今後検討していきます。

* 1月に「生命のことづけ～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11～」を自立支援協議会の中で上映します。

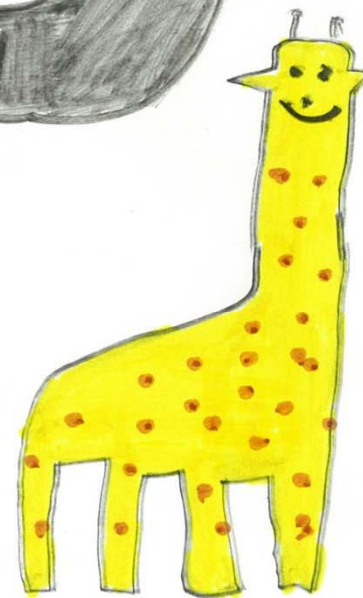
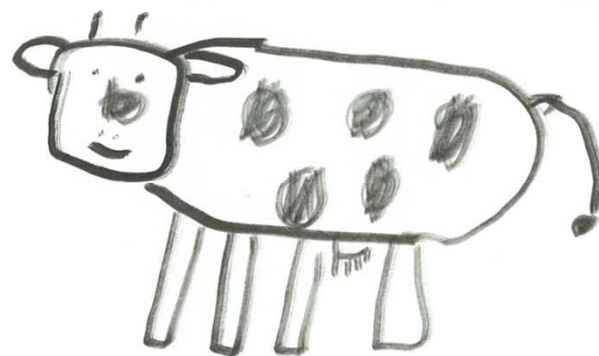
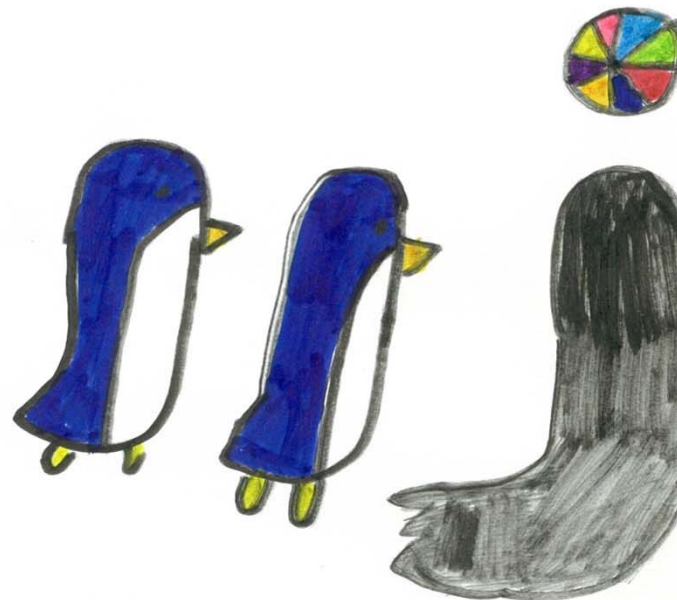
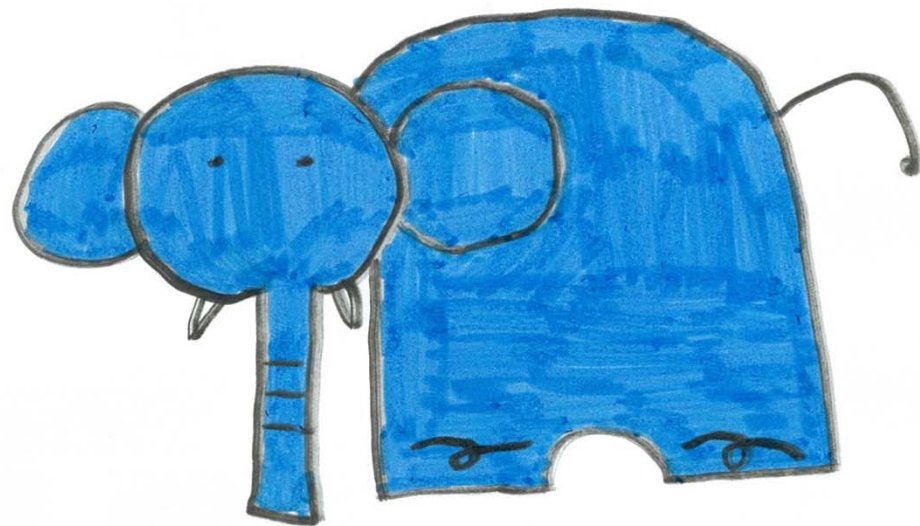
「こども委員会」

外国人親子が多いことが川崎区の特徴であり、より利用しやすいように、障害のあるこどもの制度を記載した多言語（8ヶ国語）の制度案内パンフレットを作成します。

「暮らし委員会」

日中活動先の利用者・家族に対する
支援や職員の業務中の悩みなどを
メンバーで共有します。

委員会活動の様子



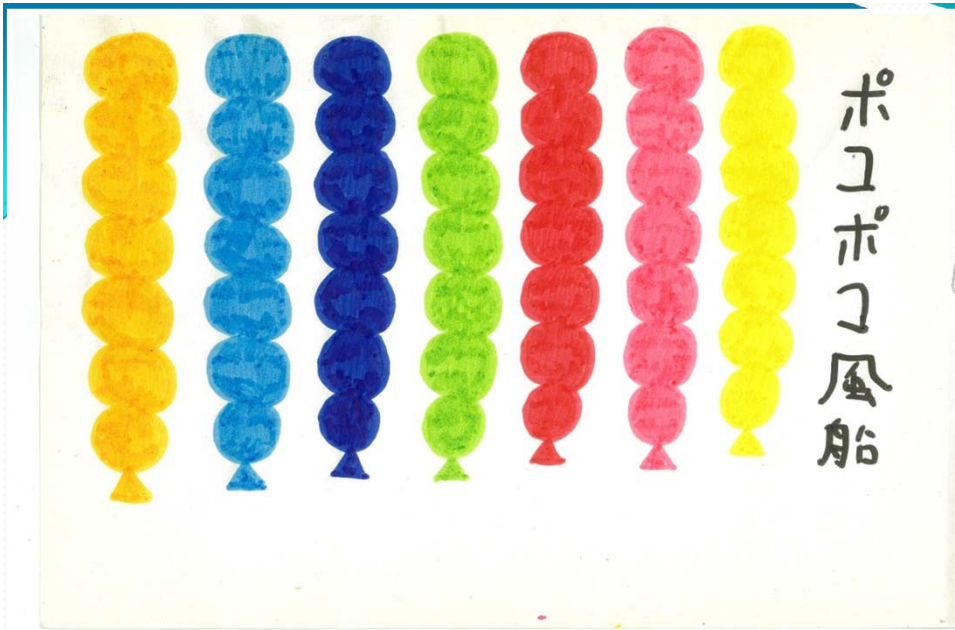
今後の予定

①包括支援センターとの意見交換会

・障害者自身やその介護をする親の高齢化が課題になっていることから、高齢・障害双方の支援者での連携について意見交換を行います。(12月)

②東日本大震災のDVD上映

・区として防災対策として取り組むべき課題を整理します。(1月)



ご清聴ありがとうございました。

